連休に入ってすぐ、おばあちゃん、娘さん、そのまた娘さんの女三代でのお参りがありました。おじいちゃんのお参りを済ませ、お茶を飲んでいるとき「ここは静かですねえ」と三人が口を揃えておっしゃいます。「連休はどこかへ行くの？」と小５の女の子に聞くと首を横に振り「行かない」と返事が返ってきました。「外は車も人も多いし、家がいちばんいいよ。お金も使わないし」と私が言うと、若いお母さんがとてもうれしそうでした。大石先生は、法座のときによく「わしは毎日がゴールデンウイークよ」とおっしゃっていました。今回の熊本地震での被害の様子を見聞きすると、平凡な毎日がいかにありがたいことかを知らされます。しかしそれもまた、無常の風が吹くとたちまち根底からくつがえるものであることも知らされました。地震でなくても何が起こっても不思議でない浮世を生きているのだということを心に銘じ、日ごろから心の拠り所をはっきりさせていただきましょう。

　　　　　　　　　　　　合掌

**【第5回長仁寺仏教婦人会定例聞法会】**

日時：　　5　月　１３　日（金曜日）

昼の部１時半から　　夜の部７時半から

（念珠、赤本、肩衣、歎異抄）